

編集後記 vol.3

三重大は夢を追い、夢を実現する大学を目指していきます。その実践活動を「えっくす」が少しでも伝えることが出来ればと思います。(ロッキー)



平年より長い年末年始休暇でしたが、あっという間に過ぎました。しっかり休養できたので、気合いを入れて三重大から情報発信していきます!(織姫)



今号から編集長の座を下り、若手にバトンタッチ。校了まで微に入り細に入り確認する姿勢...こちらも初心に立ち振り返りたく思います。(ブカバカ)



今回で編集に携わるのも6度目になりますが、改めて自身の力不足を感じる回となりました。この反省を活かし次回はより良いものに...!(イチカワ)



担当させていただいた三宅先生からノーベル賞チョコレートを頂きました!もったいなくて食べられません!!ということで机の上に飾っています。(S.O.)



先生の研究ページを担当すると、忘れかけていたことを思い出したり、新しく学んだり、いつも面白い発見があります。読者のみなさまにも新しい発見があると嬉しいですね。(きやろらいん)



ヒソジに習い、トラブル・争い事なく一人一人に温かく接する事を目標にし、昨年度よりもまた1ステップアップできるよう邁進したいと思います。(nico)



今年は、ひつじ年。私の生まれた北海道では、よくジグスカン鍋で羊の肉を焼いて食べます。だいたいどの家庭にもジグスカン鍋があり、牛肉よりスタンダードだったかも?懐かしく思います。(北の大地)



アンケートに答えて...

三重大オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成27年3月31日(火)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名に「三重大ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、三重大大学[欧風]ジビエカレー1箱、チェンミコーヒー1箱)」を、50名に「えっくすくわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の織じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



レディオキューブFM三重開局30周年記念 川井郁子 The Melody ~100年の音楽~



3月29日(日)

会場/三重県文化会館 中ホール
開場/13:30 開演/14:00
S席5,500円、A席4,000円 ※未就学児入場不可
発売場所/チケットぴあ・ローソンチケット・エムズネット
お問合せ/レディオキューブFM三重
☎059-225-5533



広告掲載のご依頼は広報室まで ☎059-231-9789

編んで出し ええじゃないか。 平成27年4月 取材旅

雑誌・週刊「ええじゃないか。」のカメラマン 弥次(堀口文宏・あさり)と、記者 喜多子(萩美香)のコンビが取材旅に出かける。

毎週月曜日 19:00~19:55
土曜日 12:00~12:55(再)

各地で放送中
●テレビ ●ナバテレビ ●tvk ●とちぎテレビ ●KBS京都 ●サンテレビ ●奈良テレビ ●きふチャンネルほか

きらめき 三重大大学! 毎月第4火曜日 12:00~12:30

三重の力を世界へ! 教育・研究・医療・地域貢献など、さまざまな分野に全力で取り組む三重大の「今」を熱くお伝えします!

再放送は エムズネットでご覧ください

お伊勢さん 熊野古道に続く大型春組 芭蕉が詠む 祈りのところ 毎月第3金曜日 20:00~20:55 4月スタート

デジタル7ch 三重テレビ放送

歴史街道シリーズ 「奈良街道 久居〜五百野」



▶本町の町並

千手院賢明寺▶

上野英三郎博士の墓碑

▶油正の酒蔵

久居は寛文九(二六六九)年に成立した新しい城下町で、その名には「永久鎮居」の願いが込められています。町はさすがに広く、街道は市中を東南から西北に複雑な道筋を辿ります。中心となる本町に入ったところで南に反れて、油正の酒蔵や川併神社の社叢を目印に進むと元町です。更に進むと右手奥に古刹千手院賢明寺の赤い楼門が目に入ります。楼門の左手前、法専寺墓所には忠犬八千公の飼主・上野英三郎博士が眠っています。農業土木学の創始者で、大正十(一九二二)年に設立された三重高等農林学校に、全国に先駆けて農業土木科が作られたのも博士があつてのことでした。

本町に戻ると、古い看板を上げた町家も目に付き、一志郡の中心の貫禄を漂わせています。続く旅籠町は旅籠が並び、人馬の継立が行われる街道の要でした。久居の鎮守の野辺野神社(もと八幡神社)もこの近くです。

西に折れて、城下町同様の家並が続く戸木、そして森を過ぎると、風景は農村らしさを増していきます。生垣や石積、納屋、畑、竹藪に彩られた緩やかな起伏の中を、街道は蛇行します。所々には青山高原の風車も見え隠れしています。

右手に迫る里山に沿って、稲葉の家並の中を進むと、道沿いは畑となつて視界が開けます。茶屋の三叉路には、「右さんぐう道 すぐ津みち 左なら大さか道」とある天明六(七八六)年の道標が常夜灯と並んでいます。道はこの先、伊賀から奈良大阪へと通じますが、明治期には、津から伊賀への街道が伊賀街道とされ、奈良街道は伊賀街道との合流点までとなりました。少し先の五百野には明治期の道標があり、「右さんぐう 左津道」と刻まれています。

三重大大学院工学研究科教授 菅原 洋一



▶天明の道標

▶稲葉の農村風景



三重大大学企画総務部総務チーム広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.33
平成27年1月発行
●発行/三重大大学広報委員会
●編集/三重大大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。